

都食育フェアで講演

TOKYO X 植村会長

TOKYO X 1 As
society (植村光一郎会長) は10月8日、東京都主催の第5回東京都食育フェアに参加し「食育をアグリフードチェーンを通して考える」と題して一般消費者に広く食育の重要性を訴えた。

植村会長は「食肉は生産過程の優位性を消費者に伝えることが最もむずかしい」と話し、「食育基本法が2005年に施行され、食べ物に感謝することが強調された。食肉に仕上がる期間などにも多くの質問が寄せられた。」

植村会長は「食肉は生産過程の優位性を消費者に伝えることが最もむずかしい」と話し、「食育基本法が2005年に施行され、食べ物に感謝することが強調された。食肉に仕上がる期間などにも多くの質問が寄せられた。」

植村会長は「食肉は生産過程の優位性を消費者に伝えることが最もむずかしい」と話し、「食育基本法が2005年に施行され、食べ物に感謝することが強調された。食肉に仕上がる期間などにも多くの質問が寄せられた。」

植村会長は「食肉は生産過程の優位性を消費者に伝えることが最もむずかしい」と話し、「食育基本法が2005年に施行され、食べ物に感謝することが強調された。食肉に仕上がる期間などにも多くの質問が寄せられた。」

ついでに放射性物質汚染について、消費者は生産現場に信頼性をもつことができないので、生産現場の優位性を開示したり、消費者のほしいものをしっかりと生産することが大切であり、生産から消費までの連携によるアグリフードチェーンを構築することが食料自給率をあげる点からも重要であることを確認した1日だった。

市場内で畜魂祭を挙行した。当日は好天に恵まれ多数の関係者が出席した。初めに物故者、畜霊に対し黙とうがさげられ、読経に続いて松岡勝昭・(株)加古川食肉公社理事長が次のように祭主祭文を読み上げた。

「家畜の御霊は生をこの世に受けて世のため人のために尊き命をささげて散っていった。れんびんの情がひとしお胸に迫るのを感じる。ことし、東日本大震災で多くの方がたが亡くなった。心からお見舞い申し上げます。」

1日も早い復興が望まれます。

続いて来賓祭文として加古川市の樽本庄一市長、兵庫県健康福祉部の久保修一

浅野さん牛に大臣賞

福岡県肉畜共進会開く

会場の特設ステージに立った植村会長は「スーパーの畜産売り場で売られているパック肉も、ふだん何気なく焼き肉やハンバーグで食べているお肉も、元は命ある牛や豚に由来している」と述べ、生体、枝肉、部分肉、パック肉の順を追って説明した。

第47回福岡県肉畜共進会が10月2〜6日の5日間、太宰府市の九州協同食肉で開かれた。出品点数は肉豚の部が8頭14セットの112頭、肉牛の部が和牛73頭を含む計99頭。審査の結果、肉豚の部の金賞はJA糸島の田中幸雄さんが獲得。肉牛はJAくるめの浅野晃さん出品牛が輝き、最終日の表彰式で農林水産大臣賞が授与された。

肉豚の部の肉質成績は一部で枝肉のバラツキもみられたが、上物率は8割を超え、とくに「極上」豚の出現率は前回を7ポイント上回る12・5%に達した。このうち田中さん出品セットは3頭を「極上」でそろえ、JA糸島に2年ぶりの優勝旗をもたらした。

肉牛の部も上位入賞者の成績が微差で肉薄し、BMS No.9以上の発生率

肉牛の部も上位入賞者の成績が微差で肉薄し、BMS No.9以上の発生率



TOKYO Xについて説明する植村会長

獣魂に哀悼の意表す

京都獣魂法要奉讃会が

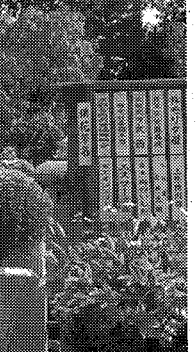
観客を集めた。



TOKYO Xについて説明する植村会長

京都獣魂法要奉讃会(会長 宮田正美・京都食肉市場(株)社長)は10月12日、京都市南区の京都市中央卸売市場第二市場

内牛王釈迦尊像前で平成23年度獣魂慰霊法要を執り行った。当日は多数の関係者が出席し、獣魂のめい福と斤つ



獣魂碑の前で祭文を奉獻する宮田会長

市況

品相場

(キ口あたり・円)
(税抜き)

鮮物	凍結物
605	570
262	320
-	270~280
-	400~410
-	380~390
サイス物)	450~550
(米 国)	-
180~200)	-
(タ イ)	-
(")	-
(")	-
(")	-
(")	-
(中 国)	-
(")	-
レ140~240)	335
(ブラジル)	-
(")	420~480

公検査むなる肉流魂がを祈意を佐の世や福展に私いはる。はあひのいどい受